


とやまのたから  2024

小矢部 OYABE × 滑川 NAMERIKAWA × 南砺 NANTO

「越中源氏太鼓」

「新川古代神」

「越中五箇山民謡」

守
り
た
い
人
の
絆

伝
え
た
い
人
の
心



『まち』と共に生き
『まち』と共に受け継がれてきた唄や踊り
“心意気”と共に今、未来へつなぐ

令和5年度
第35回富山県高等学校文化祭

『とやまのたから』は、富山県公立文化施設協議会と共同で開催する
「ふるさと富山推進事業」で、富山県の貴重な文化遺産を県内外に広く紹介する公演です。
南砺市城端・五箇山地域と富山市八尾で古くから大切に受け継がれてきた日本の宝
『城端の庵唄』、富山の3大民謡「八尾おわら節、麦屋節、こきりこ」等です。

内容

披露 「越中源氏太鼓」、「新川古代神」、「五箇山民謡」

出演／越中源氏太鼓保存会・新川古代神保存会・富山県立南砺平高校郷土芸能部 司会／下澤弥生

2024年 **10月20日[日]** 14:00開演 13:30開場

南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座

全席自由 **500円** [高校生以下無料] ●未就学児の入場はご遠慮願います。

■プレイガイド／南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」・南砺市井波総合文化センター、福野文化創造センターヘリオス
福光福祉会館、砺波市文化会館
アーツナビ（富山県民会館・富山県教育文化会館・富山県高岡文化ホール・新川文化ホール）

主催／南砺市城端伝統芸能会館（指定管理者オカベ・ホクタテ共同体）
後援／富山県、富山県公立文化施設協議会、南砺市、北日本新聞社、とらみ衛星通信テレビ、FM とらみ

<https://johanaza.jp/>

※新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い

●「咳エチケット」にご協力ください。●手洗い、手指の消毒をお願いいたします。●咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの
体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。●感染拡大防止のため、公演中止・内容変更になる場合があります。

■お問い合わせ／南砺市城端伝統芸能会館

富山県南砺市城端1046 TEL.0763-62-5050

小矢部 × 滑川 × 南砺

「越中源氏太鼓」

「新川古代神」

「越中五箇山民謡」

3つの「まち」で唄い、踊り継がれてきた

小矢部市の「越中源氏太鼓」、滑川市の「新川古代神」、南砺市の「五箇山民謡」。

これらは「まち」の、「とやま」の“たからもの”です。

画像提供：南砺市観光協会

それらを育み守ってきたのは、そこに暮らす人々の、子や孫に「まち」の継承と繁栄を託す心です。

今もその“たから”は地域に息づき、人々に大きな輝きを与えています。

富山の誇るべき“たから”を、これまで大切に受け継ぎ、次世代に繋いでいく“人々の想い”を感じてください。

画像提供：小矢部市観光協会

画像提供：滑川市

越中源氏太鼓

源氏太鼓は、小矢部市の市指定無形民俗文化財で、寿永2年(1183年)、源平倶利伽羅合戦で木曾義仲の先導を承った、地元の蟹谷次郎(かんだのじろう)が、戦勝を祝うために酒宴を催した際、部下の侍たちが歓喜勇躍のあまり、乱舞しながら太鼓を打ち鳴らしたことに始まったと伝えられています。

現在は毎年9月の第2日曜日に行われる秋祭り(風祭り)の際に、下後巫神明宮(しもごぜしんめいぐう)で奉納されており、豆絞りの鉢巻に法被、黒のたっつけ袴、白の手甲・足袋という揃いの衣装で、笛の音に合わせて踊りながら、五穀豊穡・順風慈雨を祈って太鼓が打ち鳴らされます。

源氏太鼓



新川古代神

新川古代神は、「はねそ(羽根曾)」を原型民謡とする盆踊り唄です。寛永年間(1624~1643)に古大仁と言うお坊さんが、お盆の13日の夕暮れにお墓まで提灯松明を両手に振りながら、唄い口ずさみ、霊をお迎えに行ったのが始まりという伝承があります。

当時の村人達は、生活と密着した盃・手拭い・扇子・笠・提灯・松明といった小道具を使って古大仁踊りと称しておもしろく、楽しく踊ったと言われています。この踊りが新川古代神踊りとして今日まで唄い踊り継がれてきました。この踊りの特徴は、極めてテンポが早くリズムカルな踊りであり、いたって現代的な感じをあたえます。又、一回の舞台で松明・提灯・盃・笠・手拭い・扇子と小道具を使って踊る踊りは、全国にも類をみないとされています。

新川古代神



越中五箇山民謡

富山県立南砺平高等学校は、世界遺産・合掌造り集落のある五箇山地域に位置し、来年には創立75周年を迎えます。全校生徒は70名に満たない小さな学校ですが、郷土芸能部やスキー部をはじめ、多くの生徒が全国大会の舞台を経験しています。

郷土芸能部は、地元五箇山地域に伝わる民謡を学び、伝承することを目的に、平成元年に創部されました。普段は福祉施設や地域のお祭りに出演し、「越中五箇山民謡」の魅力を発信しています。また、全国高等学校総合文化祭に平成6年度から出場しており、入賞回数は全国最多となっています。令和4年8月の第46回全国高等学校総合文化祭東京大会では、8年ぶり3度目の最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。

令和5年度第35回富山県高等学校文化祭

